

(様式第7号 別紙1)

令和4年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

団体名 北川副小学校運営協議会

1 事業実施期間 令和4年 4月 1日から 令和5年 3月31日まで

2 事業の成果（県民の便益にどのようにつながったのかについて記載）

※提出期限までに成果・効果を示すことが困難な場合は、成果・効果の見込みを記入してください。

生活にこまり感のある家庭に食料支援をすることで、子どもたちをおなか一杯にし、一人でも多くの子どもが健康で生き活きと成長していくことを支援し、貧困家庭に継続的に寄り添い支援を続けることでどんな環境にあっても、子育てしやすいまち「北川副」の実現に貢献できた。さらに小学校区で活動することで、佐賀県内の他の小学校区に同じような活動が広がるモデルとなれるようにノウハウの蓄積が進んだ。

また、北川副小学校で取り組んでいるユニバーサルデザイン教育について学習会を開催し、発達障害などで生活に困り感を持っている子どもたち、そして子育てに悩む保護者に寄り添える地域をつくり貢献できた。

3 寄附金を活用して行った事業の実施に関する事項

(1) 今年度寄附金を活用して行った事業（GCFを行った場合はGCF名とその内容を記載）

事業名	具体的な事業内容	(A)実施日時 (B)実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の支出金額 (単位：千円)
① こどもおなか一杯便事業	北川副小学校に子どもを通わせる生活に困り感のある世帯に2ヶ月に1回食品を配送し、こどものおなか減ったの解消を目指した。	(A) 4/16, 6/18, 8/20 10/15, 12/17, 2/18 (B) 佐賀市北川副 (C) 15人	(D) 希望する就学援助受給世帯 (E) 延べ151世帯	725
② UD教育学習会事業	東京成徳大学大学院心理学研究科田村節子教授を講師に迎え、ユニバーサルデザイン教育学習会を開催した。	(A) 2月18日 (B) 佐賀市北川副 (C) 20名	(D) 保護者、地域住民 (E) 参加者100名	170

(2) 次年度繰越金が発生する場合、その活用見込み

事業名	具体的な事業内容	(A)実施日時 (B)実施場所	事業費の支出金額 (単位：千円)
① 子ども見守り事業	北川副小学校内で授業中や休み時間に児童の見守り活動を行いながら、交流を通して児童の心の拠りどころになるとともに、学級運営の貢献に寄与できるようにする。	(A) 150日 (B) 佐賀市立北川副小学校	300

(様式第7号 別紙2)

収 支 決 算 書

区 分		決算額 (円)	備 考
収 入	佐賀県ふるさと寄附金	2,097,728	
	寄付金	43,391	(株)戸上電気製作所、おてらおやつクラブ
	預金利子	16	
	UD講演会負担金	75,000	北川副小学校PTAとの共催
	前年度繰越金	1,911,319	
	収入 計	4,127,454	
支 出	○こどもおなか一杯便事業		
	食品	574,900	配送用食品
	配送料	107,580	
	消耗品	42,427	段ボール、メッセージカード等
	○ UD教育学習会事業		
	謝金	150,000	講師謝金
	印刷製本費	19,860	広報用チラシ
	返礼品等の調達に係る費用	601,150	
	返礼品等の送付に係る費用	143,344	
	ふるさと納税の広報に係る費用	0	
	ふるさと納税の事務に係る費用	383,570	事務委託料等
	次年度繰越金	2,104,623	
	支出 計	4,127,454	